

Comments and Discussions

Hitoshi HIRAKAWA (平川 均)*

本論文は、台湾新竹の産業クラスター内の企業間関係（分業・協力関係、競争環境等）とその地域における企業戦略との関係から産業クラスターの競争力を説明しようとするものである。従来の研究では、政府の役割、公的研究機関の役割、クラスター内の企業間関係や台湾 IC 企業の企業戦略などが扱われてきたが、企業戦略の点から分析を試みたものは極めて少ないと言っている。この点で、産業クラスター研究に新しい視点を提起しており、その意義は大きい。実際、本論文で著者は、企業の「選択と集中」の企業戦略が台湾 IT 産業クラスターの発展を支えたと結論している。

なお、著者は結論部分で、「市場と技術・製品開発に関する交流・提携の両方で国外との関係の緊密化が観察され、水平分業パートナーシップにおいても、海外企業もファウンドリの顧客として、あるいは装置・ツールや部材供給者として重要な役割を果たしている。・・・台湾の地域クラスターは、グローバルな産業連関の中に緊密に組み込まれ、その中で一定の役割を果たすべく、地域内の企業戦略やパートナーシップを質的に行動化させてきた」と分析している。これは、台湾の IC 産業クラスターの発展の経緯を示すものとして、興味深い指摘である。グローバル市場に向けた生産の中から、企業戦略が決定され、そのことによって産業クラスターが生まれてきたと理解できるからである

* Professor, Graduate school of Economics, Nagoya University.
名古屋大学大学院経済学研究科教授